○「新」学習過程分析表（学習指導略案添付資料）

|  |
| --- |
| Ⅰ　主体的な学び |
| １ 学習活動への展開構成①物理的な環境設定（座席配置、道具の位置、児童生徒・教員のグループ等）②自ら考え、活動する場面設定③自己選択・自己決定の場面設定（活動内容に係る選択肢の提示等） |
| ２ 見通しを高める。①動作補助を含む身体的支援②視覚情報による支援（手順表や見本、ジェスチャー等）③音声言語による支援 |
| ３ 興味・関心を高める題材及び活動設定 |
| ４ 興味・関心を高める教材教具の活用 |
| Ⅱ　対話的な学び |
| １ モノと関わり、活動につなげる。①タイマーや視覚支援教材からの情報を活動につなげる。②プリント教材や内容にある必要な情報を学習活動につなげる。 |
| ２ 他者に情報を伝え活動につなげる。 ①コミュニケーションエイド等を用いた意思表示を活動につなげる。②質問、報告、考え等を意思表示して活動につなげる。 |
| ３ 他者からの情報を活動につなげる ①周囲の雰囲気を感じたり、他者の見本を真似たりして活動する。②他者の活動を見て、自分のすべきことに取り組む。③他者の良さや失敗を自分の活動に生かす。④他者からのアドバイスや指示等を活動の改善につなげる。 |
| ４ 仲間と活動する。①仲間と同じ活動の中で自分の役割を行う。②それぞれの役割を行う。 |
| ５ 活動を評価する。①活動を振り返り、自己評価する。②他者からの評価を受け、自己評価へつなげる。 |
| Ⅲ　深い学び |
| １ 学習により得た知識・技能を応用し、活動を展開する。①様々な情報の中から、自分が必要とするものを選び、学習活動に生かすことができる。(他人の意見に耳を傾け、従来の自分のやり方を修正しながらより良い方向に活動を展開することができる。)②学んだ知識を日々の学習活動のいろいろな場面で関連づけていくことができる。 |
| ２ 学んだ知識・技能を授業場面以外へつなげていく。①学校の様々な授業で学んだことを学校以外の場面で身に付けた知識・技能を自分で判断して活用できる。(様々な生活の場面の中で自分自身の考えでいいものを選び活用できる。)　 ②学校以外の場面で、自分の思いや考えを周りの人に伝えたり、自ら進んで問題点を見出し、解決策を考えたりすることができる。 |